



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 リアルビジョン
 コード番号 6786 URL <http://realvision.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 杉山 尚志
 (氏名) 三須 貴夫

TEL 045-473-7331

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	66	△93.5	△138	—	△178	—	△178	—
23年3月期第2四半期	1,013	14.2	△218	—	△243	—	△190	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △179百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △311百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4,339.34	—
23年3月期第2四半期	△4,621.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,012	944	93.3	22,941.74
23年3月期	1,262	1,124	89.0	27,297.13

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 944百万円 23年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150	—	△200	—	△200	—	△202	—	△4,904.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	41,187 株	23年3月期	41,187 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1 株	23年3月期	1 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	41,186 株	23年3月期2Q	41,186 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）のおかれましては経営環境につき、世界経済は、欧州の財政問題、米国債の格下げ等により金融不安が拡大し、さらに、高成長を維持してきた中国をはじめとする新興国も輸出減速等により成長ペースが鈍化している為、先行き不透明感が高まっております。国内経済は、サプライチェーンの急速な復旧や個人消費の持ち直しにより、東日本大震災による落ち込みからの回復基調が見られるものの、急激な円高の進行により、景気の下振れ懸念が高まっております。

エレクトロニクス業界につきましては、スマートフォン及びタブレットPCの世界的大ヒットもあり好調な分野がある一方、厳しい競争で価格の下落が止まらない液晶テレビ等の分野もあり、まだら模様に移っております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は、前連結会計年度第4四半期に韓国のWIDE Corp.（以下、WIDE社）が当社連結子会社から持分法適用関連会社に異動したこと及び円高の影響による部材関連事業の不振等により、売上高は66,325千円（前年同期比93.5%減）となりましたが、販売費及び一般管理費の削減に努め（同68.3%減）、営業損失は138,708千円（前年同期営業損失218,481千円）、経常損失は178,010千円（前年同期経常損失243,816千円）、四半期純損失は178,720千円（前年同期四半期純損失190,336千円）と前年同期と比較し損失は減少いたしました。

なお、WIDE社の当第2四半期の業績（韓国会計基準）は、売上高について医用及び航空管制向け液晶モニターの販売が順調で前年同期比44.1%の増収となりましたが、為替がウォン高に推移したことで為替差損等が生じたこともあり、四半期純損失を計上しております。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

1) グラフィックス関連事業

産業用グラフィックス事業は、国内の医用向け画像システム及び航空管制向けグラフィックスボードの販売に注力しましたが、東日本大震災の影響等により低調に推移しました。しかしながら、次期以降の事業拡大の為、医用向けグラフィックスボードの新製品「UMDシリーズ」のサンプル出荷を進め、さらに、医療事業の拡大を図る国際的な大手優良メーカーと共同開発を開始いたしました。アミューズメント事業は、遊技機器メーカーへの営業を継続し行う一方、開発のサポートを進めております。また、「JIGENシリーズ及びRacroix」について、POSシステムの表示機器等新たな分野よりニーズが寄せられ、新規用途の開拓を推進しております。

この結果、売上高41,090千円（前年同期比95.1%減）、セグメント損失61,331千円となりました。

2) 部材関連事業

急激な円高により日本から部材関連を輸入するのがコスト高となり、顧客が輸入先を日本から他国に変更した為、売上高25,235千円（前年同期比86.2%減）、セグメント利益474千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較し249,906千円減少し、1,012,752千円となりました。資産の内訳は、流動資産が693,279千円（前連結会計年度末比134,298千円減）、固定資産が319,473千円（同115,608千円減）であります。流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が56,405千円、有価証券が50,065千円減少したこと等であります。また、固定資産の主な減少要因は、WIDE社の社債償還により関係会社社債が88,300千円減少したこと等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が40,388千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較し70,525千円減少し、67,873千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、当四半期純損失178,720千円等により、前連結会計年度末と比較し179,381千円減少し、944,878千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金）については、以下の活動により、前連結会計年度末と比較して106,470千円減少し、当第2四半期連結会計期間末で594,395千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は172,473千円（前年同期は12,669千円の獲得）となりました。これは主に売上

債権の減少23,766千円（前年同期比228,777千円減）及び持分法による投資損失23,170千円等の増加要因がありましたが、税金等調整前四半期純損失178,010千円（前年同期は244,741千円の税金等調整前四半期純損失）等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は75,240千円（前年同期は63,042千円の使用）となりました。これは主にWIDE社の社債償還による収入75,640千円等の増加要因によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通期連結業績予想からの変更はありません。今後、販売及び受注等の状況に応じ、開示ルールに従い、適時、公表してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	650,800	594,395
受取手形及び売掛金	65,337	41,570
有価証券	50,065	—
商品及び製品	49,227	47,029
仕掛品	7,041	6,529
原材料及び貯蔵品	6,765	7,233
その他	4,784	2,965
貸倒引当金	△6,444	△6,444
流動資産合計	827,577	693,279
固定資産		
有形固定資産	20,065	17,307
無形固定資産		
その他	2,884	2,165
無形固定資産合計	2,884	2,165
投資その他の資産		
投資有価証券	54,746	38,750
関係会社株式	338,530	330,694
関係会社社債	166,540	78,240
その他	10,621	10,621
投資損失引当金	△158,306	△158,306
投資その他の資産合計	412,131	300,000
固定資産合計	435,081	319,473
資産合計	1,262,658	1,012,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,426	7,037
賞与引当金	15,250	10,946
その他	50,411	30,342
流動負債合計	113,088	48,326
固定負債		
退職給付引当金	17,800	12,408
資産除去債務	5,721	5,774
その他	1,789	1,364
固定負債合計	25,310	19,546
負債合計	138,399	67,873

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,022,725	3,022,725
資本剰余金	3,489,224	3,489,224
利益剰余金	△5,287,319	△5,466,039
自己株式	△185	△185
株主資本合計	1,224,444	1,045,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,199	△17,195
為替換算調整勘定	△98,984	△83,650
その他の包括利益累計額合計	△100,184	△100,845
純資産合計	1,124,259	944,878
負債純資産合計	1,262,658	1,012,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,013,190	66,325
売上原価	722,613	43,859
売上総利益	290,576	22,466
販売費及び一般管理費	509,057	161,174
営業損失(△)	△218,481	△138,708
営業外収益		
受取利息	2,036	4,665
受取配当金	392	2,070
その他	4,083	374
営業外収益合計	6,512	7,111
営業外費用		
支払利息	2,492	—
為替差損	28,998	23,080
持分法による投資損失	—	23,170
その他	357	163
営業外費用合計	31,847	46,413
経常損失(△)	△243,816	△178,010
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	924	—
特別損失合計	924	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△244,741	△178,010
法人税、住民税及び事業税	709	709
法人税等合計	709	709
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△245,450	△178,720
少数株主損失(△)	△55,114	—
四半期純損失(△)	△190,336	△178,720

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△245,450	△178,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,541	△15,995
為替換算調整勘定	△70,453	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	15,334
その他の包括利益合計	△65,911	△660
四半期包括利益	△311,362	△179,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△212,587	△179,381
少数株主に係る四半期包括利益	△98,775	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△244,741	△178,010
減価償却費	21,576	3,075
無形固定資産償却費	1,651	719
のれん償却額	8,278	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	296	—
引当金の増減額(△は減少)	△2,839	△4,303
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,355	△5,391
受取利息及び受取配当金	△2,428	△6,736
支払利息	2,492	—
為替差損益(△は益)	11,781	21,484
持分法による投資損益(△は益)	—	23,170
売上債権の増減額(△は増加)	252,544	23,766
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,189	2,242
仕入債務の増減額(△は減少)	17,591	△40,388
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△75,600	2,218
前受金の増減額(△は減少)	—	△12,741
その他の流動負債の増減額(△は減少)	13,662	△6,639
その他	1,338	109
小計	13,769	△177,426
利息及び配当金の受取額	2,375	6,285
利息の支払額	△2,429	—
法人税等の支払額	△1,046	△1,332
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,669	△172,473
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,372	△400
無形固定資産の取得による支出	△1,511	—
投資有価証券の償還による収入	—	75,640
投資有価証券の減資による収入	4,085	—
貸付けによる支出	△1,584	—
敷金及び保証金の差入による支出	△2,650	—
敷金及び保証金の回収による収入	1,989	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,042	75,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	129,890	—
短期借入金の返済による支出	△104,306	—
その他	△412	△412
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,171	△412
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,637	△8,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,838	△106,470
現金及び現金同等物の期首残高	634,498	700,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	602,659	594,395

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	830,970	182,220	1,013,190	—	1,013,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	830,970	182,220	1,013,190	—	1,013,190
セグメント利益又は損失(△)	△138,280	3,077	△135,203	△83,278	△218,481

(注) 1. セグメント損益の調整額△83,278千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,278千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,090	25,235	66,325	—	66,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	41,090	25,235	66,325	—	66,325
セグメント利益又は損失(△)	△61,331	474	△60,856	△77,851	△138,708

(注) 1. セグメント損益の調整額△77,851千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,851千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。